

自分自身と対話してますか？

藤森 幹人 | FUJIMORI MIKIHITO

近頃、「対話」という言葉をよく耳にします。本のタイトルだったり、広告だったり、政治でもタウンミーティングを対話集会と言ったり、親子の対話、お客様との対話、市民との対話など、今の日本はそんなに対話を求めているのかなあ。

かく言う私も3年前に(株)対話計画という名前の計画事務所を設立して活動しています。そんなことで今回は「対話」について書いてみました。

そもそも「対話」ってなんでしょう？なんとなく"対等な立場で真面目で率直な話し合い"というイメージがありますよね。よく比べられる会話や議論との違いから見てみましょうか。

まずは「会話」、いわゆる日常のおしゃべりで、特に目的や結論はなく、人間関係を維持することに重点がありますよね。だから、話の流れが重要で、ちょっと違和感あっても相手に話を合わせたリ、沈黙の間があると気まずい感じになります。気楽なようで気を使いますね。流れのなかで話題もあちこち飛んで行きます。

一方、「議論」は、目的があって結論が必要になりますね。分析的で論理性が求められます。発言は個人よりも立場を背負っていることが多く、討論のようにそれぞれの言い分に勝ち負け(結論)が付きまったりします。

では、「対話」は？

- ・ 話題はあっても目的や結論を求めない。
- ・ 流されないで個人の率直な意見を言葉にする。
- ・ 互いの考えの違いを認めた上で、相手の意見を尊重して聞き、受け止める。
- ・ 沈黙が気まずくならない空気。

私は対話をそんな感じで考えています。では対話ができると何がいいのでしょうか。

- ・ 創造的アイデアが生まれやすい。
- ・ 異なる考えの相互理解が進む。
- ・ 共感からチームワークが生れる。
- ・ 自ら得た考えは行動につながる。

でも、なかなかできないですよ、対話。一見、話しが回り道して非効率に思えます。どうしたらいいのでしょうか。自分の正直な気持ちを言葉にする努力、自分の意見に固執せず、意図を手放す努力が大切だと思います。

特に私は、対話中の"沈黙"が好きです。各自が自分の正直な気持ちに向き合う深い内省の時間だから。思いもよらなかった自分に出会えたり、イライラしている自分を冷静に見つけたりできるんですよ。

先日、まちづくりコンサルタントの若手と職業について対話する場を持ちました。これまで自分に向き合うことが無かったという参

ENGAWA NEWS 2010年7月号
発行：NPO法人まちの縁側育くみ隊
〒461-0002 名古屋市東区代官町29-18
柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内
TEL&FAX：052-936-1717
E-mail：info@engawa.ne.jp

加者の感想が印象的でした。

皆さんは、自分自身と向き合っ
て対話してますか？

世間で使われている「対話」とは違っているかもしれませんが、今度お会いする時には一緒に対話してみませんか。

■参考図書：

「ダイアログ」対立から共生へ、議論から対話へ/デヴィッド・ボーム著/英治出版
「ニッポンには対話がない 学びとコミュニケーションの再生」/北川達夫、平田オリザ 著/三省堂

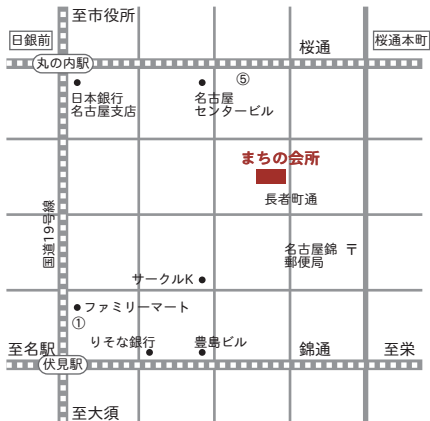


■写真："日常に対話の場を創る"をコンセプトに開催した「名古屋『ダイアログ Bar』～ワールドカフェ&ダイアログ：対話による学びと共創の場～」2010.05.23/ 笹島JICA中部カフェクロスロードにて

■今月の理事

藤森 幹人 (フジモリ ミキヒト)
まちの縁側育くみ隊の理事であり、対話する都市計画プランナーとして(株)対話計画を設立。里山保全やリノモ支援にも取り組む欲張り者。

まちの会所
MACHI no KAISHO



まちの会所
 愛知県名古屋市中区錦2-6-13
 長者町糸びすビルPart3・2階
アクセス
 名古屋地下鉄桜通線丸の内駅下車5番出口
 より徒歩3分
問い合わせ先
 担当：名畑
 TEL&FAX：052-201-9878
 E-Mail：info@engawa.ne.jp
 錦二丁目まちづくりHP：
<http://www.kin2.bpl.jp/index.html>

■実践コミュニティの現場へ
 一糸満市「市民と行政の対話と協働
 におけるファシリテーター養成講
 座」よりー

延藤 安弘

市民と行政と一緒に学び合う「ファシリテーター養成講座」（糸満市）の企画実践は今年で2年目になる。総合計画づくりの実践の場面やまち育ての現場で「いける議長さん」「いける書記さん」としてのファシリテーターになれる市民・行政職員を育てようというねらいで開催している。

今回の新機軸のプログラム創意工夫は、ワークショップ方式を使わずに、通常行われる会議方式において、現状把握と将来展望について、みるべき討論プロセスと成果をいかにあげるかのトレーニングをしたことである。特に行政がのりこえなければならないのは、生活者の視点からのもの見方や、まちの課題を自分の仕事との関わりとしてとらえる思考法の不足である。また、主題に対して、手法が先行

してコンセプト（生命のように大切にしたい目指したいこと）につながる中味を提起する弱さの克服必要である。

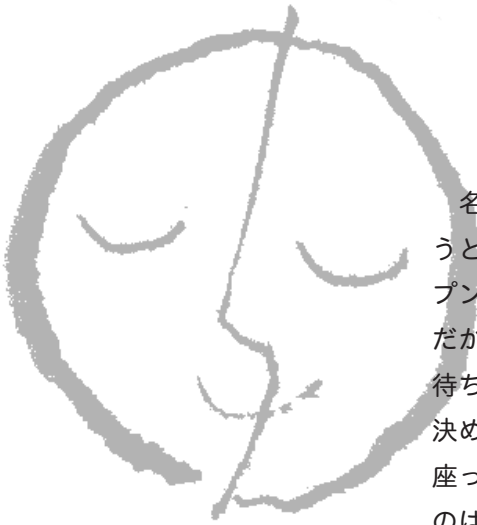
ともあれ、実践の場面で、本講座を受講された市民・行政職員が、それぞれ学んだことを十二分に活かしていただき、「実践コミュニティ」としての総合計画づくり、まち育て現場に赴かれることを期待している。ここでいう「実践コミュニティ」とは、「共通の専門スキル(ファシリテーターとしての)や、計画づくりへのコミットメント(熱意や献身)によって非公式に結びついた人々の生き生きとした集まり」のことを指します。ともに学び相互に触発しあい高まりあう関係づくりへの熱い思いをもってのぞんでいただくと、必ずや思いがけない発見や方向感の分かちあいの場が生まれてくる。創造的協働を生みだし支援するセンスとスキル・アップの機会が実践と講座の両面で各地にひろがっていくことを期待している。

OPEN: 月・水・金13:00~17:00
 記入無 錦二丁目関連
 (N) まちの縁側育くみ隊
 (E) 延藤安弘個人

7月

月	火	水	木	金	土	日
			[10:00]トリエ ナーレ長者町推 進 チーム会議 1	2	(E)[17:00]ASU延 藤・小杉ゼミ @ASU 3	(E)[13:30]岡崎JC 幻燈会 4
5	(E)[11:00]淑徳大 学講義&ゼミ 6	(N)[18:00]ゴジカ ラ村住まいづく り企画会議 7	(E)中部国際AP→ 台北AP→高雄 8	(E)高雄福祉まち づくりLec&WS 9	(E)南台湾調査 10	(E)台湾大学ゼミ 11
(E)台湾大学ゼミ 台北AP→ 中部国際AP 12	(E)[11:00]淑徳大 学講義&ゼミ [18:00]都心居住 部会 13	14	15	[15:00]意見交換 会 [17:30]同交流会 16	(E)[17:00]ASU延 藤・小杉ゼミ @ASU 17	(N)[10:00]ゴジカ ラ村住まいづく りWS 18
19	(E)[11:00]淑徳大 学講義&ゼミ [18:00]アートカ フェオープン幻 燈会 20	[18:00]マスター プラン企画会議 21	(E)[18:30]豊明市 協働委員会 22	[18:00]まち協常 任理事会 23	24	25
26	(E)[11:00]淑徳大 学講義&ゼミ (N)[17:00]NPO理 事会 27	28	[18:00]マスター プラン委員会 29	30	(E)[10:00]ASU修 論中間発表会 (E)[15:30]大阪長 屋再生P 31	

「配慮」と「特別扱い」



名古屋に出た帰り、いま人気のドーナッツを自宅への土産に買って帰ろうと思って、JRタカシマヤの一角に出来たドーナッツ店に行った。オープンした当時は人がどこまで続いているのかと思うぐらい並んでいたものだが、いまは当時に比べるとそれほどでもない。それでも私が行った時の待ち時間が1時間で、1時間ぐらいなら本でも読みながら待っていようと決めていた。私は行列に並ぶのは、それほど苦ではない。まあ、車いすに座っているから…ということもあるけれど、世の中で美味しいと評判のものやはり並んでも食べてみたいものだ。

行列に並んでしばらくすると、ドーナッツ店の店員が近づいてきて「お客様、どうぞ、こちらへ。ご案内します」と私を行列から外させて、店内へと誘導してくれた。〈なんだ、なんだ。私はVIP待遇かよ〉と心の中で苦笑しながら店員に従って店内に入った。すると別の店員が私を空いているテーブル席に案内し、よどみない所作でメニュー表と焼きたてのドーナッツを持ってきてくれた。（行列に並んでいると、焼きたてのドーナッツを1個サービスしてくれるのが、このドーナッツ店の売りになっている）結局私は1時間も待つこともなく、人気のドーナッツを買うことが出来たのである。店を出てゆく時に並んでいる人々の視線が気になったことは言うまでもない…。

きっとそれがそのドーナッツ店の方針で、店員さんはそのマニュアルに従っただけなのだろうが、何か複雑な気持ちだった。1時間も待たずに買ったのはラッキーだったが、これってどうなのだろう？ 映画館などでも他のお客さんより先にチェアウォーカーの客を入れてくれたりすることもあるが、それとは明らかに違う。「配慮」と「特別扱い」することとは違うだろう。判断が難しい時もあるだろうけれど、近頃この区別が曖昧になってしまっている人が増えているような気がする。



大久保康雄
(オオクボヤスオ)
まちの縁側育み隊の理事であり、紙芝居集団・風穴一座座長を務めるなど、多種多様な顔をもつチェアウォーカー



「観光」と「福祉」が 育くむまちづくり

今月のゲストは、今年の4月に愛知県ではじめてNPO法人格を取得した半田市観光協会番頭の松見直美さんである。

松見直美さんは半田生まれの半田育ち。昭和49年に高校を卒業して就職した先が愛知県警。婦人警察官だったのだ。愛知県警に採用されて最初の半年間は、春日井にあった警察学校にいた。その警察学校の隣には、重度障がい者の療養施設・愛知県コロニーがあった。当時松見さんのお姉さんがコロニーで看護師を務めていて、警察学校の教練が休みの時などお姉さんに頼まれて、施設内の障がい者の車いすを押したりするボランティアをしていたそうだ。それが縁で警察学校の運動会に、コロニーの人たちが車いすを押して遊びにきたこともあったそうだ。

結婚後専業主婦になり、ある日、娘さんを幼稚園に送って行った帰り、ご近所の顔見知りから「手伝って」と声をかけられた。付いて行った先は〈託児ボランティア〉の現場だった。若いママさんがお料理教室で学んでいる間、子どもたちを見守るのである。半田に立ち上がったばかりの託児ボランティアグループの人手が足りなかったのだ。はじめてのボランティアをしてみた感想は、「もう二度とこんなことやるか!」というものであったらしい。子どもはよく泣くし、疲れるし…。ただ、

社会人になってからほとんど半田にいなかった松見さんは、託児の現場である〈雁宿ホール〉という福祉と文化の複合拠点にはじめて行って、ここに来れば子育て中であっても文化的な情報や娯楽の情報得られ、何かを学べるかも知れないことを知った。しかし、子育て中の女性は何か理由をつけないと時間に流されて家から一歩踏み出せない現実もあって、ボランティアにかこつけて〈雁宿ホール〉に通おうと思ったとか。

松見さんがまちづくりの視点をもち始めたのは、平成6年に半田市社協が立ち上げた〈おもちゃ図書館〉がきっかけだった。その中で重度の自閉症の子どもをもった一組の親子に出会う。ある日、そのお母さんから投げかけられた問いが松見さんの琴線に触れたのである。「子どもたちの居場所はこうしてつくられているけれど、この子たちが大人になったときに半田はどんな街になっているんでしょう? いまの大人の障がいをもった人たちの「半田ってよい街だね」という声が、私たちにも届いて来なければ子育てをする自信が湧いて来ない。大人の障がいをもった方にとって、いまの半田の街ってどうなのでしょう?」と尋ねられたのだ。松見さんはそれに答えられなかった。雁宿ホールには障がい者の授産施設もあったので、挨拶ぐらい交わす人はいたが、親しく話したことがなかった。その人たちが半田の街でどう過ごしているのか解らなかったのだ。

その後、何人かのチェアウォーカーと出会い皆それぞれに生き

生きと活動していた。しかし、それは雁宿ホール周辺のことだけで、商店街に行くと入れないお店が多く、なんだかなあ〜とっていた。その中で仲間たちと行動したり、障がい当事者と行政との間を繋いだりとまちづくり活動へとシフトしてゆく。

そんな中、観光協会も駅前再開発ビルが出来ると同時に、行政の商工観光課から民間運営になり、松見さんは職員になった。任意団体のままでは事業をするにも法人格をもっていないので活動しにくいという現実的な問題もあり商工会議所の会頭とか副会頭とか役員が居並ぶ中、松見さんは訴えたそう。平成21年度の総会で法人格取得が決定事項になり、今年4月から念願のNPO法人格が認可されたのである。

「福祉」も「観光」も、まちづくりの一環である。松見さんの現在の想いは、知多半島は福祉のNPO活動が盛んな地域である。その福祉と観光とを繋げて、新たな観光資源にしたいということと、子どもたちにも半田の素晴らしさを知ってもらいたいと思っている。子育てボランティアから始まり、いつしか福祉ボランティアと呼ばれるようになっていた松見さんの集大成が、観光という土壌で花開く日もそれほど遠くはないであろう。

ジネンカフェvol.040

日時：2010年6月5日(土) 14:00~16:00
テーマ：「観光」と「福祉」が育くむまちづくり

ゲスト：松見直美さん
(NPO法人半田市観光協会 番頭)

参加費：300円(カフェ代別途)

場所：くれよんBOX

主催・共催：NPO法人まちの縁側育くみ隊
かたひらかたろう
くれよんBOX

ジネンカフェ vol.041

7月3日(土)

14:00 ~ 16:00



皆と同じに生きてきたつもりなんやけど…?

道を電動車椅子で歩いていると未だに「がんばってね!」とかありがたい言葉をもらう、心の中で「普通に見てよ」(普通の反応など生まれてからされた事が無いので分かりませんが)と思います。ひたすら、やりたい事をやりたいようにやってきただけです、そこにただ「障がいがある」というだけです。集まって下さる皆さんと、ざっくばらんにそんなこととお話できたらいいなと思います。

ゲスト
中村美佐子
主婦

1965年大阪府八尾市出身。大阪府立藤井寺養護学校高等部卒業。大阪府立身体障害者更生施設3年半で退所。事務機器販売会社でアルバイトをしながら仕事や社会を勉強する。27歳で家を出る。転職しつつ30歳で名古屋に転居。34歳で会社退職。40歳で結婚。現在、講師等をしています。

参加費：300円 カフェ代別途

場所：くれよんBOX

地下鉄御器所駅8番出口
(エレベーター)より徒歩5分。

〒466 0012
名古屋市昭和区小桜町3-11 羽ね屋敷1階
Tel 052-733-5955
<http://www.crayon-box.jp/map.htm>



～お問い合わせ・申し込み先～

NPO法人 まちの縁側育くみ隊
名古屋市東区代官町29 18
柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内
Tel/Fax 052 936 1717
E-mail ookubo@engawa.ne.jp

主催・共催 NPO法人まちの縁側育くみ隊、かたひらかたろう、くれよんBOX

まちの縁側MOMOの「おいしい、たのしい、あったかい」ダンランの数々。
ぜひ、ご参加ください。

**山田郁子さんの伴奏のもと、
さあ歌いましょう！**



童謡からシャンソンまでおなかの
底から声を出して歌いましょう
日 時：7月13日(火)
10:30～11:30
参加費：500円

手作り楽しもう会



簡単現代風リフォームPART2
日 時：7月2日(金)、9日(金)、
16日(金)、23日(金)
10:00～12:00
参加費：700円(お茶代込)
持ち物：お気に入りのTシャツ

ダンボール工作



7月は「すもう盤」相撲ゲームを
つくろう！
日 時：7月15日(木)
15:30～17:30
講 師：図画工作むらた
参加費：500円+材料費500円

ごま食堂の月イチ食堂

第2土曜日の夜は・・・



「旬の野菜・豆・雑穀を使った
ビストロ料理」
日 時：7月10日(土)
18:00～22:00
料 金：1,500円(別途ドリンク代)

食楽だんらんもも屋

第3土曜日の夜は・・・



日 時：7月17日(土)
19:00～22:00
参加費：1品(お酒or食べ物)持寄り
※飛入り参加は1,000円
※お酒は有料で用意して
います

お食事とお菓子MIL

第4土曜日のランチは・・・



「野菜を中心とした
月毎の薬膳ランチ」
日 時：7月24日(土)
11:00～16:00
料 金：800円
1日20食限定

つどいの広場♪ハーモニー♪

平成22年度なごやつどいの広場助成事業



0歳～3歳の子どもと親で参加
日 時：月・水・木 10:30～12:30
※祝日はお休み
※詳しくはまちの縁側MO
MO(TEL052-936-1717)
参加費：300円/1回(保険料含む)

Happy笑いのヨガクラブ



思いっきり笑うことでリフレッシュ
日 時：7月28日(水)
13:30～14:30
講 師：坂本智琴さん
参加費：1,200円
※動きやすい服装

パソコンなんでもコーナー



パソコン・インターネットに関す
る簡単な質問・相談コーナー!!
日 時：毎週水曜日・金曜日
14:00～17:00
講 師：堀靖郎さん
料 金：500円

MOMOと5人の作家展

たくさんの人に届けたいハンドメイドの品々です。

主催：岡田恵子さん

期間：7月1日(木)～21日(水)

スイーツデコを体験しよう

空きびんが、スイーツに変身！子どもさんも参加可。ジャムなど蓋つきの空き瓶をお持ちください！

講師：紫夕(岡田恵子さん)

日時：7月10日(土)

10:00～12:00

13:00～15:00

参加費：1,200円(材料費込)

ビーズアクセサリを作ろう

講師：紫夕(岡田恵子さん)

日時：7月17日(土)

13:00～15:00

参加費：1,500円(材料費込)

定員：大人12名

とんぼ玉展

恒例の「とんぼ玉展」を開催します。

主催：椎葉佳子先生

期間：7月22日(木)～8月27日(金)

とんぼ玉ワークショップ

世界に1つしかないオリジナルとんぼ玉を作りましょう。今年はどんな作品をつくるのかお楽しみに！

講師：椎葉佳子先生

日時：7月30日(金)

13:00～16:00

定員：18名(1時間6名ずつ)

参加費：1,200円(材料費込)



まちの縁側MOMO

愛知県名古屋市東区代官町29-18

柴田ビル1階

アクセス

名古屋地下鉄桜通線車道駅下車①番出口より徒歩10分

名古屋地下鉄東山線新栄町駅下車②番出口より徒歩10分

問い合わせ先

担当：延藤節子

TEL&FAX：052-936-1717

E-Mail：momo@engawa.ne.jp

7月

OPEN: 火～金 13:00～17:00

OPEN: 土・日 イベント開催日

月	火	水	木	金	土	日
MOMOと5人の作家展 7月1日(木)～7月21日(水) とんぼ玉展 7月22日(木)～8月27日(金) ※開催中は土曜日13:00～17:00オープンしています			[10:30] つどいの広場♪	[10:00] 手作り楽しもう会 [14:00] パソコンコーナー		
			1	2	3	4
[10:30] つどいの広場♪	[14:00] ポビンレース	[10:30] つどいの広場♪ [13:00] 手作りルームスプレー [13:30] マイ箸袋 [14:00] PCコーナー	[10:30] つどいの広場♪	[10:00] 手作り楽しもう会 [14:00] パソコンコーナー	[10:00・13:00] スイーツデコWS [18:00] ごま食堂	
5	6	7	8	9	10	11
[10:30] つどいの広場♪	[10:30] 山田郁子さん伴奏のもとにさあ歌いましょう! [14:00] ポビンレース	[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー	[10:30] つどいの広場♪(水遊び) [15:30] ダンボール工作	[10:00] 手作り楽しもう会 [14:00] パソコンコーナー	[13:00] 手作りビーズワークショップ [19:00] もも屋	
12	13	14	15	16	17	18
海の日	[14:00] ポビンレース	[10:30] つどいの広場♪ [14:00] パソコンコーナー	[10:30] つどいの広場♪	[10:00] 手作り楽しもう会 [14:00] パソコンコーナー	[11:00] MIL・Cafe [16:00] 小学生絵画教室	
19	20	21	22	23	24	25
[10:30] つどいの広場♪(水遊び)	[14:00] ポビンレース	[10:30] つどいの広場♪ [13:30] 笑いのヨガ	[10:30] つどいの広場♪	[13:00] とんぼ玉ワークショップ		
26	27	28	29	30	31	

"縁側"に行きたくなる インフォメーションペーパー ENGAWA NEWS

ENGAWA NEWS 2010年7月号
発行：NPO法人まちの縁側育くみ隊
〒461-0002 名古屋市東区代官町29-18
柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内
TEL&FAX：052-936-1717
E-mail：info@engawa.ne.jp

まちの縁側MOMOの日常
Daily life of MOMO 

アイスコーヒーはいかがですか
MOMOでは、夏に向けてアイスコーヒー（300円）をご用意しています。待ち合わせや、一休みにいかがですか。スタッフお手製の看板をかけてお待ちしています。

6月の絵手紙WSのご報告

「絵手紙展～涼を呼ぶうちわとはがきの絵手紙メッセージ～」に合わせ、6月10日（木）・18日（金）に、絵手紙作家の石田季実枝さんのご指導のもと、絵手紙ワークショップを行いました。

石田さん曰く、「絵手紙は、題材となる対象物をじっくり観察して、"自分が感じたままに描く"ことが大切だそうです。

MOMOに咲く花たちも絵手紙のモチーフになり、参加者の皆さんは、じ〜っと観察しながら、絵手紙に挑戦しました。

「私、結構はまっちゃったりして…いただいた葉書5枚を一気に描いちゃいました～」な〜んていう方も。

改めて、参加者の皆さんの集中力と感性は、すばらしいものでした。「観て」「描いて」出来上がった作品に、ご満悦でした。



石田季実枝さんと作品



「よく観察して・・・」



「かわいい作品ができました」

7月のインフォメーション

つどいの広場♪ハーモニー♪で楽しい水遊びはじまります

つどいの広場♪ハーモニー♪では、どんぐり広場で水遊びを行います。水着を持ってきてね。

日 時：7月15日(木)、26日(月)

8月2日(月)、25日(水)

11:00ごろ～12:00まで

※詳しくはまちの縁側MOMOまで



小学生のための

夏休み子ども絵画教室

ポスターや図画を楽しくかきながら絵の基礎を身につけませんか。夏休みの宿題の参考にもなりますよ。

講 師：たきのたかきさん

日 時：1回目 7月24日(土)

2回目 8月7日(土)

3回目 8月28日(土)

各日とも16:00～17:30

参加費：各回1,000円

1回のみ参加もOK

定 員：小学生各10名程度 要予約

持ち物：絵画セット（えのぐ、クレヨン可）

定期講座

「ボビンレース」を開催します

"ボビンレース"とは、16世紀ベルギー・イタリアで始まった繊細なレース織りです。

講 師：小池昌子さん

日 時：毎週火曜日（7月6日、

13日、20日、27日）

14:00～16:00

参加費：1,200円（材料費込）

定 員：先着2名

